

第 28 回

西宮市子ども・子育て会議

【資料集】

資料 1

資料 2

資料 3

目 次

資料 1	ロードマップ	・・・ 1
資料 2	議事 2 教育・保育の量の見込み及び確保方策について	・・・ 2
資料 3	議事 3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策について	・・・ 10

ロードマップ

(1) ロードマップ

	平成 30 年度		令和元年度					
	第 24 回	第 25 回	第 26 回	第 27 回	第 28 回	第 29 回	第 30 回	第 31 回
	10.17	2.14	5.13	7.22	8.22	10月	1月	2月
1) 第2期西宮市子ども・子育て支援事業計画								
アンケート調査の項目	●							
アンケート調査結果 速報		●						
提供区域の設定			●					
量の見込みの設定			○	○	○	●		
確保方策の設定				○	○	●		
計画全体の審議				○	○	素案 確定	○	●
2) 計画の評価								
第1期西宮市子ども・子育て支援事業計画		●						●
西宮市子ども・子育て支援プラン								●

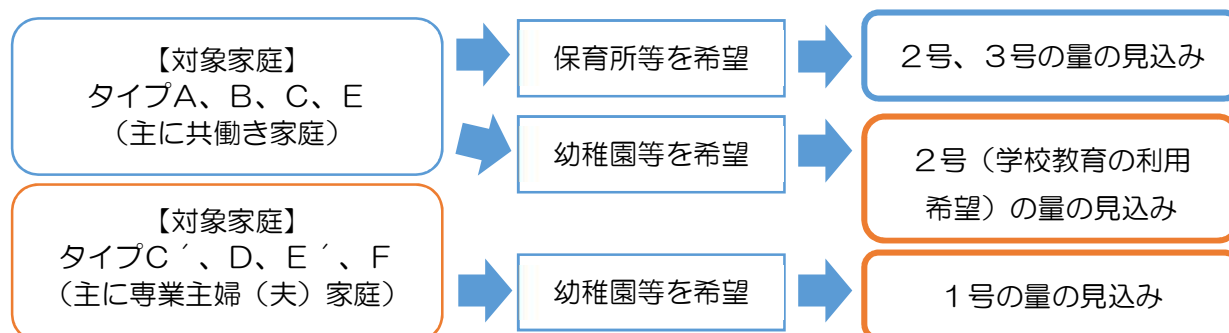
○＝審議、●＝審議終了（確定）

※令和元年 10 月に素案を確定させ、令和元年 12 月～令和 2 年 1 月（予定）にパブリックコメントを実施。

※このほか、評価検討ワーキンググループ（令和元年 10 月、11 月）、確認部会（令和 2 年 2 月ほか）を開催。

議事 2 教育・保育の量の見込み及び確保方策について

1. 国の算出方法



2. 国の算出方法（アンケート）に基づく量の見込み

(1) 2号、3号認定の量の見込み

全 市	R2	R3	R4	R5	R6
3号認定（0歳児）	1,478	1,495	1,458	1,428	1,414
3号認定（1、2歳児）	3,062	2,928	2,903	2,910	2,845
2号認定（3～5歳児）	3,906	3,778	3,652	3,528	3,482
合 計	8,446	8,201	8,013	7,866	7,741

(2) 1号認定、2号認定（学校教育の利用希望）の量の見込み

全 市	R2	R3	R4	R5	R6
1号認定	4,893	4,732	4,574	4,419	4,361
2号認定（学校教育の利用希望）	1,399	1,353	1,308	1,264	1,247
合 計	6,292	6,085	5,882	5,683	5,608

3. 実績値

(1) 2号認定、3号認定：入所児童数＋待機児童数

全 市	H27	H28	H29	H30	H31
3号認定（0歳児）	458	532	560	544	582
3号認定（1、2歳児）	2,731	2,908	2,995	3,141	3,189
2号認定（3～5歳児）	3,706	3,883	4,029	4,010	4,115
合 計	6,895	7,323	7,584	7,695	7,886

(2) 1号認定、2号認定（学校教育の利用希望）：入園児童数

全 市	H27	H28	H29	H30	H31
1号認定、 2号認定（学校教育の利用希望）	8,658	8,455	8,243	8,034	7,739

4. 量の見込みに対する市の考え

国の算出方法に基づく量の見込みと今年度の実績値を比較して以下の点が異なるため補正を行うものとする。

- 0歳児の需要の乖離

保育を必要とする世帯の大半は、出産後、育児休業を取得し1歳から保育所等を申込み。しかしながら、国の算出方法では、0歳児の子供を持つ保護者のニーズ＝0歳児の量の見込みとなるため実績と乖離が生じている。

- R6保育の量の見込み（1～5歳児）＜H31保育の実績値

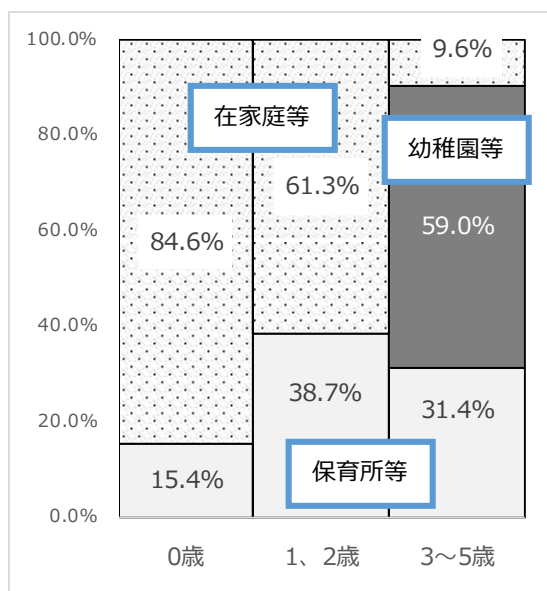
女性の就業率の上昇に伴い、幼児教育・保育の無償化に関わらず、今後も保育需要が増加していくものと考えている。

国の算出方法では、1、2歳児の保育需要は実績値を上回っているものの、入所児童数（量の見込み）が実績値を下回る結果となったほか、3～5歳児について保育需要及び入所児童数（量の見込み）ともに実績値を下回る結果となった。

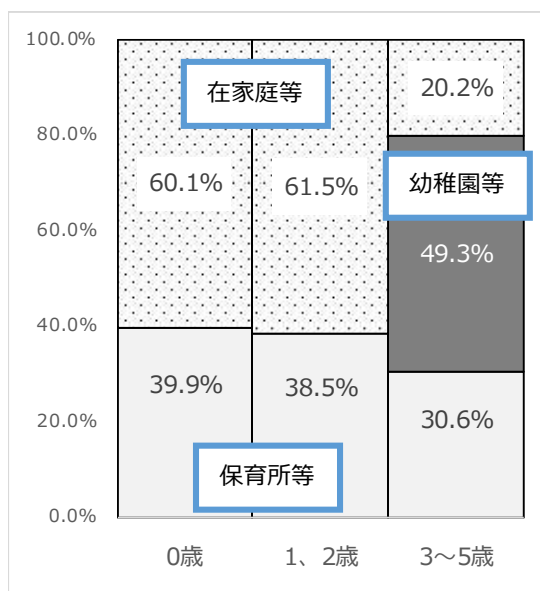
- 幼稚園需要の大幅な減と在家庭等（保育所、幼稚園等を利用していない児童）の割合の増

保育需要と同様に、幼稚園需要も実績から大きく下回る結果となった。また、実績値では3～5歳児の約9割が保育所、幼稚園等を利用しているが、量の見込みでは約8割と実績から大きく下回る結果となった。

【H31 実績値】



【国の算出方法による R6 の見込み】



5. 量の見込みの算出方法

(1) 2号認定、3号認定の量の見込みの算出方法

- 各年齢の保育需要率（（入所児童数＋待機児童数）／児童数）の直近5か年（H27～H31）の増加率（平均）を算出し、今後も平均的に保育需要が増加していくものとする。
- 算出した保育需要率と児童数を掛け合わせた数を量の見込みとする。

【保育需要率】

全市	H27	H28	H29	H30	H31	増加率平均
0歳児	10.2%	12.4%	13.1%	14.0%	15.4%	1.3%
1歳児	29.4%	30.7%	33.8%	35.5%	38.3%	2.2%
2歳児	31.0%	33.5%	34.7%	37.6%	39.0%	2.0%
3歳児	28.4%	30.5%	31.8%	31.7%	33.4%	1.3%
4歳児	26.8%	28.2%	29.5%	30.1%	31.0%	1.0%
5歳児	25.5%	26.8%	28.5%	28.9%	29.8%	1.1%
合計	25.3%	27.1%	28.6%	29.9%	31.4%	1.5%

全市	R2	R3	R4	R5	R6	中核市平均 H31
0歳児	16.7%	18.0%	19.3%	20.6%	22.0%	16.8%
1歳児	40.4%	42.6%	44.8%	47.0%	49.2%	47.6%
2歳児	41.0%	43.0%	45.0%	47.0%	49.0%	53.7%
3歳児	34.6%	35.8%	37.1%	38.3%	39.6%	52.7%
4歳児	32.0%	33.0%	34.0%	35.1%	36.1%	52.4%
5歳児	31.0%	32.1%	33.1%	34.2%	35.3%	51.7%
合計	32.8%	34.1%	35.6%	37.1%	38.6%	46.3%

(2) 1号認定、2号認定（学校教育の利用希望）の量の見込みの算出方法

- 4、5歳児の量の見込みについて

過去の実績値をみると4、5歳児では、約92%～95%の就学前児童が幼稚園、保育所等を利用している。そのため、1号認定、2号認定（学校教育の利用希望）の量の見込みは以下のとおり算出する。

幼稚園、保育所の利用割合平均－保育需要＝1号認定、2号認定（学校教育の利用希望）の利用割合…①

①×就学前児童数＝1号認定、2号認定（学校教育の利用希望）の量の見込み

【幼稚園、保育所等の利用割合】

全市	H27	H28	H29	H30	H31	平均
4歳児	93.7%	94.4%	93.6%	94.2%	92.1%	93.6%
5歳児	95.2%	95.4%	95.1%	94.2%	93.9%	94.7%

- 3歳児の量の見込みについて

アンケートで幼児教育・保育の無償化が実施されることによって、利用したい施設等が変わったかどうか尋ねたところ、僅かではあるが、公立幼稚園（2年保育）から私立幼稚園（3年保育）へ希望を変更すると回答した世帯があった。

過去の実績では、3歳児と4歳児の幼稚園、保育所等の利用割合に差があるが、3歳児の量の見込みを算出するにあたっては、最大値を見込むため、4歳児の幼稚園、保育所等の利用割合と同等になるよう算出することとする。

なお、算出方法は、4、5歳児の量の見込みと同様の方法とする。

- 2号認定（学校教育の利用希望）の量の見込みについて

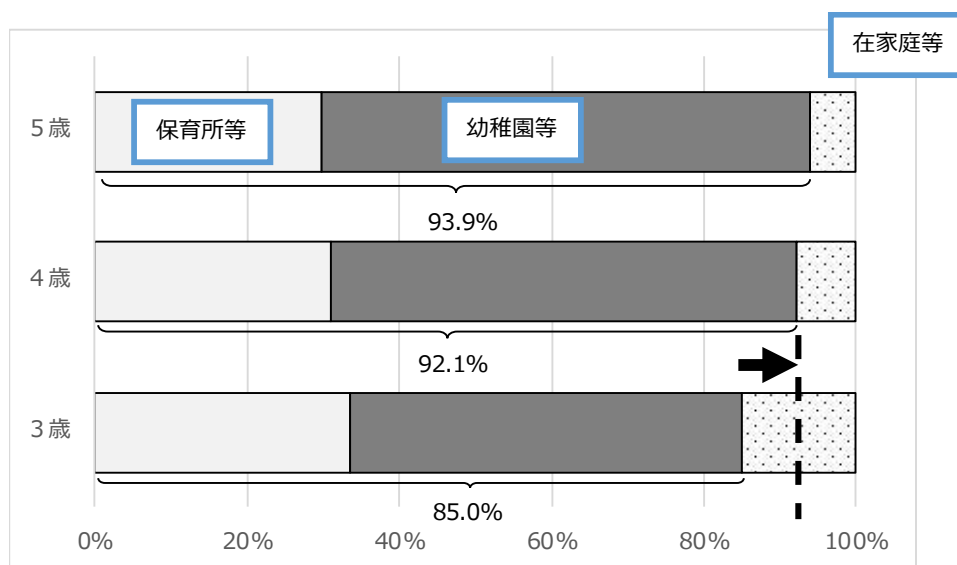
前述のとおり算出した量の見込みのうち、2号認定（学校教育の利用希望）については、アンケート結果を用いることとする。

【アンケート結果：幼児教育・保育の無償化による影響（回答数 171 人／3,431 人）】

（単位：人）

		元々、利用する予定であった施設・事業								
		公立幼	私立幼	保育所	認定こ	小規模	認可外	その他	無回答	総計
利用 したい 施設・ 事業	公立幼	2	1	2		1			1	7
	私立幼	31	4	19	3	1	5	3	7	73
	保育所	3	5	3	1		1		4	17
	認定こ	14	9	12	5		4	1	5	50
	認可外	2	3	8	1		1		2	17
	その他		1		1					2
	無回答	1			1				3	5
	総計	53	23	44	12	2	11	4	22	171

【年齢ごとの子供の居場所（H31.4）】



6. 本市の量の見込み及び確保方策

(1) 保育（3号認定・0歳児）の量の見込み

北 部	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	42	47	49	52	55
確保方策	42	47	49	52	55
保育所、認定こども園	31	36	38	41	44
地域型保育事業	11	11	11	11	11

南 部	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	578	629	657	687	723
確保方策	578	629	657	687	723
保育所、認定こども園	425	476	504	534	570
地域型保育事業	153	153	153	153	153

全 市	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	620	676	706	739	778
確保方策	620	676	706	739	778
保育所、認定こども園	456	512	542	575	614
地域型保育事業	164	164	164	164	164

(2) 保育（3号認定・1、2歳児）の量の見込み

北 部	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	180	185	194	204	209
確保方策	180	185	194	204	209
保育所、認定こども園	147	152	161	171	176
地域型保育事業	33	33	33	33	33

南 部	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	3,057	3,068	3,190	3,347	3,416
確保方策	3,057	3,068	3,190	3,347	3,416
保育所、認定こども園	2,543	2,554	2,676	2,833	2,902
地域型保育事業	514	514	514	514	514

全 市	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	3,237	3,253	3,384	3,551	3,625
確保方策	3,237	3,253	3,384	3,551	3,625
保育所、認定こども園	2,690	2,706	2,837	3,004	3,078
地域型保育事業	547	547	547	547	547

(3) 保育（2号認定）の量の見込み

北 部	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	231	227	225	221	223
確保方策（保育所、認定こども園）	231	227	225	221	223

南 部	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	3,921	3,923	3,922	3,910	3,987
確保方策（保育所、認定こども園）	3,921	3,923	3,922	3,910	3,987

全 市	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	4,152	4,150	4,146	4,131	4,210
確保方策（保育所、認定こども園）	4,152	4,150	4,146	4,131	4,210

(4) 保育（2号、3号認定）の量の見込み（(1)～(3)の合計）

北 部	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	453	459	467	477	486
確保方策	453	459	467	477	486
保育所、認定こども園	409	415	423	433	442
地域型保育事業	44	44	44	44	44

南 部	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	7,556	7,619	7,769	7,944	8,126
確保方策	7,556	7,619	7,769	7,944	8,126
保育所、認定こども園	6,889	6,952	7,102	7,277	7,459
地域型保育事業	667	667	667	667	667

全 市	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	8,009	8,078	8,236	8,421	8,612
確保方策	8,009	8,078	8,236	8,421	8,612
保育所、認定こども園	7,298	7,367	7,525	7,710	7,901
地域型保育事業	711	711	711	711	711

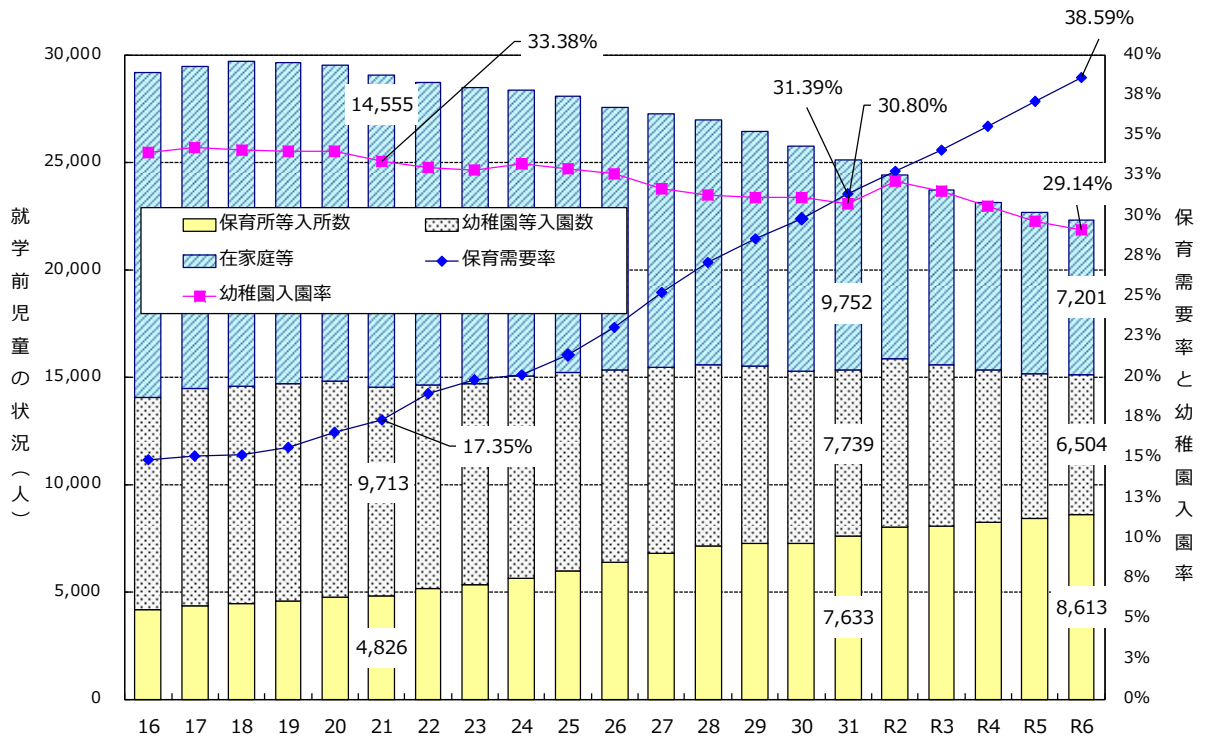
(5) 教育（1号認定、2号認定（学校教育の利用希望））の量の見込み及び確保方策

北 部		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	1号認定	364	346	330	315	306
	2号認定（学校教育の利用希望）	145	140	135	131	129
	合 計	509	486	465	446	435
確保方策	新制度幼稚園、認定こども園	305	486	465	446	435
	従来制度の幼稚園	204	0	0	0	0
	合 計	509	486	465	446	435

南 部		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	1号認定	6,103	5,776	5,453	5,145	4,951
	2号認定（学校教育の利用希望）	1,254	1,213	1,173	1,133	1,118
	合 計	7,357	6,989	6,626	6,278	6,069
確保方策	新制度幼稚園、認定こども園	2,653	3,416	3,566	3,726	3,726
	従来制度の幼稚園	4,704	3,573	3,060	2,552	2,343
	合 計	7,357	6,989	6,626	6,278	6,069

全 市		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	1号認定	6,467	6,122	5,783	5,460	5,257
	2号認定（学校教育の利用希望）	1,399	1,353	1,308	1,264	1,247
	合 計	7,866	7,475	7,091	6,724	6,504
確保方策	新制度幼稚園、認定こども園	2,958	3,902	4,031	4,172	4,161
	従来制度の幼稚園	4,908	3,573	3,060	2,552	2,343
	合 計	7,866	7,475	7,091	6,724	6,504

【保育需要率及び幼稚園入園率と就学前児童数の推移・量の見込みを踏まえた将来予測】



議事 3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策について

1. 時間外保育事業（延長保育事業）

（1）国の算出方法

- ・対象家庭：タイプA、B、C、E（主に共働き世帯）
- ・対象児童：0～5歳児
- ・利用意向：2号認定、3号認定の量の見込みで算出した世帯のうち、利用希望時間を18時31分以降と回答した世帯の割合

（2）実績値（単位：ひと月あたりの人数・％）

北部	H27	H28	H29	H30	H29とH30 平均
利用児童数①	48	49	102	97	
入所児童数②	428	437	436	423	
利用割合（①／②）	11.2%	11.2%	23.4%	22.9%	23.2%

南部	H27	H28	H29	H30	H28～30 平均
利用児童数①	1,246	1,521	1,518	1,509	
入所児童数②	6,391	6,703	6,825	6,859	
利用割合（①／②）	19.5%	22.7%	22.2%	22.0%	22.3%

全市	H27	H28	H29	H30
利用児童数①	1,294	1,570	1,620	1,606
入所児童数②	6,819	7,140	7,261	7,282
利用割合（①／②）	19.0%	22.0%	22.3%	22.1%

（3）国の算出方法（アンケート）に基づく量の見込み（単位：ひと月あたりの利用児童数）

	R2	R3	R4	R5	R6
北 部	42	40	39	38	37
南 部	2,023	1,961	1,915	1,876	1,847
全 市	2,065	2,001	1,954	1,914	1,884

（4）量の見込みの算出方法

過去の実績をみると、入所児童数のうち延長保育事業を利用している児童の割合は概ね一定である。そのため、延長保育事業の量の見込みについては、保育（2号、3号）の量の見込みと実績値（利用割合）を掛け合わせて算出する。

北 部	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
保育の量の見込み①	453	459	467	477	486
利用割合②	23.2%	23.2%	23.2%	23.2%	23.2%
延長保育事業の量の見込み (①×②)	105	106	108	110	113

南 部	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
保育の量の見込み①	7,556	7,619	7,769	7,944	8,126
利用割合②	22.3%	22.3%	22.3%	22.3%	22.3%
延長保育事業の量の見込み (①×②)	1,686	1,700	1,733	1,772	1,813

(6) 本市の量の見込み及び確保方策 (単位：年間延べ利用児童数)

北 部	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	105	106	108	110	113
確保方策	105	106	108	110	113

南 部	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	1,686	1,700	1,733	1,772	1,813
確保方策	1,686	1,700	1,733	1,772	1,813

全 市	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	1,791	1,806	1,842	1,883	1,926
確保方策	1,791	1,806	1,842	1,883	1,926

2. 子育て短期支援事業（子育て家庭ショートステイ事業）

（1）前回の会議でお示した量の見込み及び確保方策

（単位：年間延べ利用児童数）

全市	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	173	170	166	163	160
確保方策	173	170	166	163	160

（2）主なご意見

- ・本事業は制度上 18 歳まで利用することが可能であるため、量の見込みの算出にあたり、小学生以下の児童数で算出するのではなく、0～18 歳の児童数で算出すべき。
- ・量の見込みは実績値から算出しているが、本当のニーズはもっとあるのではないか。
- ・ファミリーホームを活用するなど、様々な形で受入枠の確保に努めていくべき。

（3）ご意見を踏まえた対応方針

- ・前回の意見を踏まえ、量の見込みについては0～18 歳以下の児童数で算出する。
- ・現在、乳児院4か所、児童養護施設5か所、地域小規模児童養護施設（グループホーム）2か所で受入を行っているが、今後は市内のファミリーホームなど、新たな受入先の確保に向けて検討を進める。

全市	R2	R3	R4	R5	R6
利用率③	0.21%	0.21%	0.21%	0.21%	0.21%
18 歳以下の児童数④	86,952	85,116	83,746	82,320	81,079
年間延べ利用児童数 （③×④）	183	179	176	173	170

参考：各年の年間延べ利用児童数と実利用人数（カッコ内）

全市	H27	H28	H29	H30
0、1 歳	29 (5)	30 (4)	45 (11)	31 (7)
2 歳～就学前	50 (12)	59 (15)	74 (12)	55 (13)
小学生	33 (9)	79 (18)	81 (15)	79 (17)
中学生	3 (1)	4 (2)	14 (3)	3 (1)
高校生	7 (1)	7 (1)	0	1 (1)
親	0	14 (1)	0	7 (1)
合計	122 (28)	193 (41)	214 (41)	176 (40)

3. 放課後児童健全育成事業（留守家庭児童育成センター）

（1）前回の会議でお示した量の見込み及び確保方策

（単位：人）

全 市		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	1年生	1,364	1,383	1,516	1,732	1,673
	2年生	1,298	1,230	1,248	1,364	1,561
	3年生	1,111	1,174	1,110	1,126	1,229
	4年生	596	667	704	666	676
	5年生	227	238	266	281	266
	6年生	71	73	73	85	89
	合 計	4,667	4,765	4,917	5,254	5,494

（2）主なご意見

- ・放課後キッズによる影響を見込む必要がある。
- ・幼児教育・保育の無償化の影響を見込む必要がある。
- ・量の見込みは民間学童の状況を踏まえて検討する必要があるのではないか。

（3）ご意見を踏まえた対応方針

放課後キッズ（6月～）、幼児教育・保育の無償化（10月～）については、今年度事業を開始した（される）状況であり、現時点では、留守家庭児童育成センターの利用ニーズへの影響等は不透明である。そのため、量の見込みについては、前回お示した算出方法（保育所等の実績に基づく）による数値とし、計画の中間年（R4）に、改めて留守家庭児童育成センターへの影響等を精査したい。

（4）確保方策について

- ・確保方策は、留守家庭児童育成センター（待機児童対策として実施する民設放課後児童クラブを含む）の入所児童数とし、放課後キッズでの受入数を含めない（放課後キッズ開始による利用ニーズへの影響が生じた場合は計画の中間年に見直す）。
- ・1年～3年生の確保方策は量の見込みと同数とする。
- ・4年生については、西宮市子ども・子育て支援プランにおいても「平成30年代半ばまでに全市で4年生受入をめざします」としており、令和6年度に向けて段階的に確保していくものとする。
- ・5、6年生については、当面は障害のある児童のみの受入とし、確保方策は過去実績の最大値とする（障害のある児童の受入について設定した数値以上のニーズがある場合は柔軟に対応することとする。）

(5) 量の見込み及び確保方策

北 部		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	1年生	87	79	89	102	72
	2年生	87	78	72	81	92
	3年生	66	79	70	65	73
	4年生	46	40	47	42	39
	5年生	18	18	17	19	17
	6年生	6	6	6	6	6
	合 計	310	300	301	315	299
確保方策	1年生	87	79	89	102	72
	2年生	87	78	72	81	92
	3年生	66	79	70	65	73
	4年生	14	20	26	32	39
	5年生	2	2	2	2	2
	6年生	2	2	2	2	2
	合 計	258	260	261	284	280

南 部		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	1年生	1,277	1,304	1,427	1,630	1,601
	2年生	1,211	1,152	1,176	1,283	1,469
	3年生	1,045	1,095	1,040	1,061	1,156
	4年生	550	627	657	624	637
	5年生	209	220	249	262	249
	6年生	65	67	67	79	83
	合 計	4,357	4,465	4,616	4,939	5,195
確保方策	1年生	1,277	1,304	1,427	1,630	1,601
	2年生	1,211	1,152	1,176	1,283	1,469
	3年生	1,045	1,095	1,040	1,061	1,156
	4年生	225	328	431	534	637
	5年生	9	9	9	9	9
	6年生	9	9	9	9	9
	合 計	3,776	3,897	4,092	4,526	4,881

全 市		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	1年生	1,364	1,383	1,516	1,732	1,673
	2年生	1,298	1,230	1,248	1,364	1,561
	3年生	1,111	1,174	1,110	1,126	1,229
	4年生	596	667	704	666	676
	5年生	227	238	266	281	266
	6年生	71	73	73	85	89
	合 計	4,667	4,765	4,917	5,254	5,494
確保方策	1年生	1,364	1,383	1,516	1,732	1,673
	2年生	1,298	1,230	1,248	1,364	1,561
	3年生	1,111	1,174	1,110	1,126	1,229
	4年生	239	348	457	566	676
	5年生	11	11	11	11	11
	6年生	11	11	11	11	11
	合 計	4,034	4,157	4,353	4,810	5,161

4. 地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）

（1）前回の会議でお示した量の見込み及び確保方策

全市	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み（利用児童数／月）	12,217	11,882	11,724	11,671	11,453
確保方策（箇所数）	21	22	22	22	22

（2）主なご意見

以下の理由から、アンケート結果が過大に出ているわけではなく、実績値と乖離が生じているのは、本来のニーズに答えられていない状況があるのではないかと。

- ・0～2歳児を対象とし、施設も狭いため、兄弟姉妹がいる家庭が利用しにくい。
- ・土曜日、日曜日の開所が少ない。

（3）ご意見を踏まえた対応方針（量の見込み）

アンケート結果における潜在的な利用ニーズを考慮して、以下のとおり量の見込みを算出する。

- ・アンケート結果から、利用実績と利用意向を比較すると、例えば北部では利用の有無で実績の1.58倍（実際に利用している人の1.58倍が利用意向を持っている）、利用日数で実績の1.06倍（実際に利用している日数の1.06倍の日数を利用したいと考えている）の利用意向となっている。つまり北部では、現状の利用状況と比較して、 $1.58 \times 1.06 = 1.67$ 倍の潜在的利用ニーズが見込まれる。

■ニーズ調査結果より【0～2歳児】

	利用の有無（利用している/したい）			利用日数（月あたり）		
	利用実績	利用意向	意向/実績	利用実績	利用意向	意向/実績
北部	35.9%	56.9%	1.58倍	3.6日	3.8日	1.06倍
南部	33.6%	53.1%	1.58倍	3.3日	4.1日	1.24倍
合計	34.0%	53.8%	1.58倍	3.4日	4.0日	1.18倍

- ・子育てひろばの利用者の大半は、保育施設を利用していない0～2歳児となっているため、アンケート結果における潜在的ニーズを考慮して、保育（3号認定）の量の見込み以外の0～2歳児1人当たりの利用量が、北部については実績の1.67倍となるよう、南部については実績の1.96倍となるよう量の見込みを算出する。

■実績値

北 部	H27	H28	H29	H30
利用児童数（月平均）	524	442	515	566
0～2歳保育施設未利用者数	781	717	629	586
利用率	0.67	0.62	0.82	0.97

1.67倍の1.62
まで増加と想定

南 部	H27	H28	H29	H30
利用児童数（月平均）	6,997	7,012	6,779	7,324
0～2歳保育施設未利用者数	9,596	9,315	9,001	8,504
利用率	0.73	0.75	0.75	0.86

1.96倍の1.69
まで増加と想定

■量の見込み

北 部	R2	R3	R4	R5	R6
0～2歳保育施設未利用者数	596	576	552	534	511
利用率	1.62	1.62	1.62	1.62	1.62
量の見込み	966	933	894	865	828

南 部	R2	R3	R4	R5	R6
0～2歳保育施設未利用者数	7,202	6,841	6,548	6,310	6,016
利用率	1.69	1.69	1.69	1.69	1.69
量の見込み	12,171	11,561	11,066	10,664	10,167

※量の見込み＝0～2歳保育施設未利用者数×利用率

全 市	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	13,137	12,494	11,960	11,529	10,995

(4) ご意見を踏まえた対応方針（サービス内容の向上等）

- ・主に0～2歳児を対象とした施設であるため、施設の大きさ等によっては、3歳児以上の兄弟姉妹がいる世帯は利用しづらい施設もある。そのため、室内が広い子育てひろば等について、事業者にも協力を促し3歳児以上の兄弟姉妹がいる世帯が利用しやすい環境を整備するとともに、周知方法についても検討する。
- ・子育てひろばの土・日曜日の実施についても事業者にも協力を促す。また、児童館については、子育てひろばを土曜日に実施していないが、現状について把握し、土曜日での実施及びその周知方法を検討する。

■（参考）子育てひろば（児童館を除く）の平成 30 年度年間延べ利用児童数（人）内訳と来館保護者数（人）内訳

施設名	子供			保護者	
	0～2 歳児	3歳児 以上	計	父親	母親他
子育て総合センター	16,304	3,871	20,175	2,236	15,967
関西学院子どもセンター さぼさぼ	6,434	675	7,109	595	5,798
武庫川女子大学子育てひろば	5,467	453	5,920	22	5,218
高木北子育てひろば（高木北小学校内）	3,767	328	4,095	104	3,646
今津子育てひろば きら・きら	3,205	447	3,652	85	3,177
親と子のほっとスペース「たんぽぽひろば」	2,874	196	3,070	74	2,826
甲子園二葉幼稚園 ふたばっこ	2,151	487	2,638	42	2,068
つぼみのひろば（つぼみの子保育園）	2,274	326	2,600	6	2,252
あいあいひろば	1,981	224	2,205	52	1,865
夙川学院短期大学 しゅくたん広場	1,755	86	1,841	28	1,669
ほおずき子育てひろば（まつぼっくり保育園）	1,092	49	1,141	0	1,155

※児童館の就学前児童の年齢別の内訳については未集計

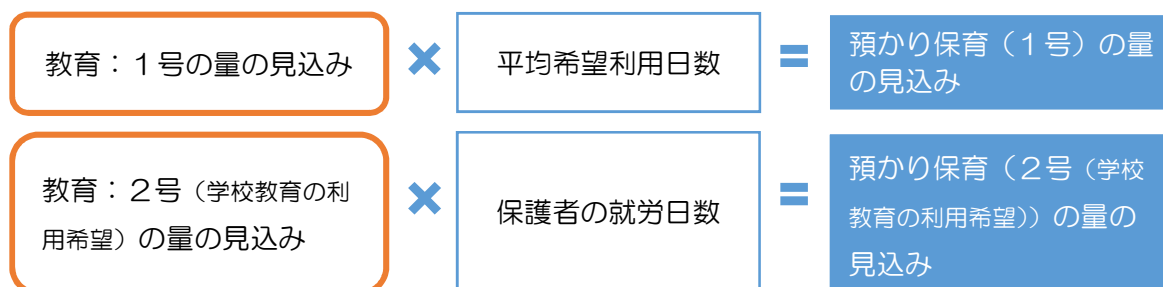
■（参考）子育てひろばの開設状況

名 称	開設日（祝日、年末年始を除く）・時間
子育て総合センター 親子サロン	【週7日】月～日曜日・9:30～16:30
児童館子育てひろば（9か所） むつみ、浜脇、津門、鳴尾、大社、 高須、段上、塩瀬、山口	【週5日】月～金曜日・10:00～15:00 ※児童館としては、 月～土曜日・10:00～18:00（冬季は17:00）
武庫川女子大学子育てひろば	【週3日】月、火、金曜日・9:30～15:30
夙川学院短期大学 しゅくたん広場	【週5日】月～金曜日・10:00～16:00
関西学院子どもセンター さぼさぼ	【週5日】火～土曜日・10:00～16:00
つぼみのひろば（つぼみの子保育園）	【週3日】月、水、金曜日・9:30～15:30
ほおずき子育てひろば（まつぼっくり保育園）	【週5日】月～金曜日・9:30～15:30
甲子園二葉幼稚園 ふたばっこ	【週5日】月～金曜日・9:00～14:00
あいあいひろば	【週3日】火、水、木曜日・10:00～15:00
高木北子育てひろば（高木北小学校内）	【週5日】火～土曜日・10:00～16:00
今津子育てひろば きら・きら	【週5日】火～土曜日・9:30～14:30
親と子のほっとスペース「たんぽぽひろば」	【週3日】月、水、金曜日・10:00～15:00
香櫨園子育てひろば（香櫨園小学校内）※	【週5日】火～土曜日・10:00～16:00

※令和元年（2019年）10月開設予定

5. 一時預かり事業（幼稚園の預かり保育事業・一時預かり事業（幼稚園型））

（1）国の算出方法



（2）実績値

	H27	H28	H29
年間延べ利用児童数（推計）	197,441	213,891	229,750

（3）国の算出方法（アンケート）に基づく量の見込み

（単位：年間延べ利用児童数）

全 市	R2	R3	R4	R5	R6
1号認定	49,328	47,711	46,124	44,552	43,973
2号認定（学校教育の利用希望）	244,670	236,620	228,753	220,970	218,082
合 計	293,998	284,331	274,877	265,522	262,055

（4）量の見込み及び確保方策に対する市の考え

「議事1 教育・保育の量の見込み及び確保方策について」で補正を行った、1号認定、2号認定（学校教育の利用希望）の量の見込みに基づき、預かり保育の量の見込みを補正する。

（5）量の見込み及び確保方策について

（単位：年間延べ利用児童数）

北 部		R2	R3	R4	R5	R6
量 の 見 込 み	1号認定	3,581	3,408	3,253	3,100	3,011
	2号認定（学校教育の利用希望）	27,573	26,605	25,729	24,882	24,519
	合 計	31,154	30,013	28,982	27,982	27,530
確保方策		31,154	30,013	28,982	27,982	27,530

南 部		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量 の 見 込 み	1号認定	59,874	56,660	53,499	50,473	48,572
	2号認定(学校教育の利用希望)	217,097	210,015	203,024	196,088	193,563
	合 計	276,971	266,675	256,523	246,561	242,135
確保方策		276,971	266,675	256,523	246,561	242,135

全 市		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量 の 見 込 み	1号認定	63,455	60,068	56,752	53,573	51,583
	2号認定(学校教育の利用希望)	244,670	236,620	228,753	220,970	218,082
	合 計	308,125	296,688	285,505	274,543	269,665
確保方策		308,125	296,688	285,505	274,543	269,665

6. 病児保育事業

(1) 国の算出方法

- 対象家庭：A、B、C、E
- 対象児童：0～5歳児
- 利用意向：子供が病気やけがの時に病児保育事業を利用したいと回答した世帯の割合と、年間平均利用希望日数

(2) 実績値

北部		H27	H28	H29	H30	H31
実施箇所数			-	1	1	1
年間延べ受入可能数		-	-	855	873	882
年間延べ利用 児童数	訪問型	-	0	0	0	-
	施設型	-	-	316	248	-
	合計①	-	-	316	248	-

南部		H27	H28	H29	H30	H31
実施箇所数		2	2	2	3	4
年間延べ受入可能数		1,770	3,226	4,560	5,220	6,468
年間延べ利用 児童数	訪問型	-	29	88	67	-
	施設型	814	773	1,331	1,401	-
	合計①	814	802	1,419	1,468	-

全市		H27	H28	H29	H30	H31
実施箇所数		2	2	3	4	5
年間延べ受入可能数		1,770	3,226	5,415	6,093	7,350
年間延べ利用 児童数	訪問型	-	29	88	67	-
	施設型	814	773	1,647	1,649	-
	合計①	814	802	1,735	1,716	-
実利用人数②		279	300	552	531	-
一人当たりの利用日数 (①/②)		2.9日	2.6日	3.1日	3.2日	-
登録人数 (施設型)		482	557	699	767	-
稼働率 (施設型)		41.7%	24.0%	30.4%	27.1%	-

(3) 国の算出方法（アンケート）に基づく量の見込み（単位：年間延べ利用児童数）

全市	R2	R3	R4	R5	R6
北部	758	739	721	707	695
南部	8,402	8,148	7,954	7,795	7,674
全市	9,160	8,887	8,675	8,502	8,369

(4) 量の見込みに対する市の考え

- ・「この1年間で病児保育事業を利用した」と回答した割合（6.1%）に対し、「今後病児保育事業を利用したい」と回答した割合（12.4%）が約2倍であった。
- ・また、過去1年間で病児保育事業を利用した日数の平均が3.3日（40日と回答した人は除外）に対し、今後の利用希望日数の平均が4.94日と約1.5倍であったため、実績とアンケート結果に大きな乖離が生じており量の見込みの補正を行う必要がある。
- ・アンケート結果：この1年間で病児保育事業を利用した日数と今後利用したい日数

日数	利用した日数 (回答数：6.1%)	今後利用したい日数 (回答数 12.4%)
1日～2日	47.8%	30.6%
3日～4日	26.1%	28.9%
5日～9日	20.7%	35.0%
10日～20日	4.3%	3.8%
20日以上	1.1%	1.6%

(5) 量の見込みの算出方法

- ・平成30年度の病児保育事業（施設型）利用者のうち、約7割が保育所等利用児童であることから、令和2年度～6年度の教育・保育の量の見込みに、アンケート結果から算出した今後の利用希望割合を掛け合わせて利用児童数を算出する。
- ・一人あたりの平均利用日数については、急激に利用児童数が増加した直近2か年（H29、H30）の平均を用いて算出する。
- ・病児保育事業（施設型）利用者の主な通園・通所先（平成30年度実績）

合計	認可保育所 認定こども園	認可外 保育施設	幼稚園	小学生	その他
1,649人	1,118人 (67.8%)	216人 (13.1%)	80人 (4.9%)	104人 (6.3%)	131人 (7.9%)

北部	R2	R3	R4	R5	R6
保育の量の見込み	453	459	467	477	486
利用希望割合	15.2%	15.2%	15.2%	15.2%	15.2%
平均利用日数	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
量の見込み	248	251	256	261	266

南部	R2	R3	R4	R5	R6
保育の量の見込み	7,556	7,619	7,769	7,944	8,126
利用希望割合	11.8%	11.8%	11.8%	11.8%	11.8%
平均利用日数	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
量の見込み	2,764	2,787	2,842	2,906	2,972

(6) 本市の量の見込み及び確保方策 (単位：年間延べ利用児童数)

北 部	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	248	251	256	261	266
確保方策	248	251	256	261	266

南 部	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	2,764	2,787	2,842	2,906	2,972
確保方策	2,764	2,787	2,842	2,906	2,972

全 市	R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	3,012	3,038	3,098	3,167	3,238
確保方策	3,012	3,038	3,098	3,167	3,238

7. 子育て援助活動支援事業（にしのみやしファミリー・サポート・センター事業）

（1）前回の会議でお示した量の見込み及び確保方策

（単位：年間延べ利用児童数）

全市		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	就学前	10,703	10,383	10,135	9,933	9,778
	就学児	5,563	5,529	5,427	5,349	5,246
	合計	16,266	15,912	15,562	15,282	15,024
確保方策	就学前	10,703	10,383	10,135	9,933	9,778
	就学児	5,563	5,529	5,427	5,349	5,246
	合計	16,266	15,912	15,562	15,282	15,024

（2）主なご意見

- ・幼児教育・保育の無償化により利用者が増えるのではないかと。
- ・アンケートに基づく量の見込みと実績値に乖離がある。これは、使いづらくて使わなかったため、もっと使いやすければ使いたいというニーズが出ているのではないかと。

（3）ご意見を踏まえた対応方針

- ・幼児教育・保育の無償化の影響について

ファミリー・サポート・センター事業への幼児教育・保育の無償化の影響については、無償化の対象となる世帯が限られているため、現時点で影響等は小さいと考えている。しかしながら、利用者数の増など影響が生じた場合は、計画の中間年（R4）において、見直し等の対応を検討するものとする。

- ・利用促進について

ファミリー・サポート・センター事業は、依頼会員からの依頼を受け、提供会員（資格不要、研修受講者）が依頼会員の自宅などで保育する事業であるため、国の制度上、また安全管理上、事前に説明を受け登録する必要がある。

依頼会員の登録にあたっては、事業内容の説明を受けるほか、子供の様子などを把握し適切に支援できるよう臨床心理士などの専門職員が同席し子供の面接を行っている。

従来、金曜日と土曜日だけの開催であった登録会を平成28年度から、様々な方が参加しやすいよう、他の曜日にも幅広く設定するほか、緊急を要する場合や集団に入りづらい親子に対しては、通常の登録会とは別に対応している。引き続き、利用促進に向けた取組みを進めていく。

8. その他

(1) 利用者支援事業（子育てコンシェルジュ）

【主なご意見】

子育てコンシェルジュの役割など、質に関する議論を話し合うべきではないか。

【今後の対応】

■評価検討ワーキンググループの一部の委員に集まっていただき、子育てコンシェルジュとともに現在の取組み内容や今後の方向性などについて議論する場を設ける。

(2) 妊婦に対して健康診査を実施する事業

【主なご意見】

合計特殊出生率はどの程度か。

【回 答】

区分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
西宮市	1.37	1.42	1.45	1.47	1.42
兵庫県	1.42	1.41	1.48	1.49	1.47
全 国	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43